

ぼう
あら坊とつくりう!

2025

秋

あらかわ生き物大図鑑



あらみい

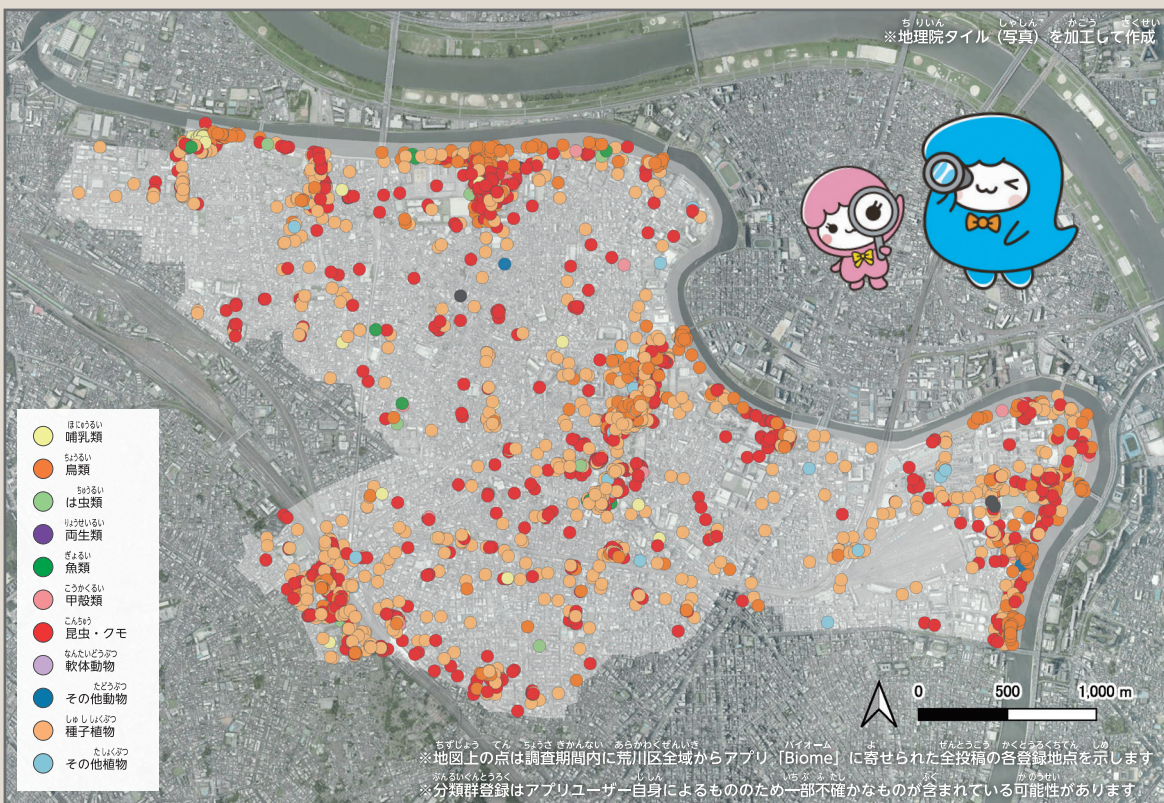
あら坊

いま したまちじょうちょう のこ すみだ がわ はくく みず べくうかん まちかど みどり く
今もお下町情緒が残り、隅田川が育む水辺空間と、街角の緑が暮らしに
と げこ まち あらかわく あき かぜ ふ め きぎ いろ まち たよう
溶け込む街、荒川区。秋の風が吹き抜け、木々が色づくこの街には、多様
な生き物たちが隠れています。
あき あらかわく い もの で あ
秋の荒川区では、どんな生き物たちに出会えるのでしょうか？



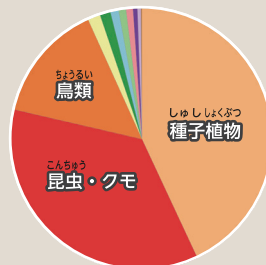
ちょうさ けっか 調査の結果

ねん がつ にち がつ にち あいだ あらかわく ぜんいき たいしやう く ない せいそく せいいく どうしよくぶつ しゃしん
2025年9月16日～11月16日の間、荒川区全域を対象とし、区内に生息・生育する動植物の写真をスマートフォンアプリ
「Biome (バイオーム)」に投稿してもらうことで、荒川区内の生き物の発見情報を集めました(参加者数 223名)。



はっけん かず
発見した数
3,524 けん

はっけん しゅるい
発見した種類
1,173 しゅるい 種類



とし か すす あらかわく ですが、こんかい ちょうさ
都市化が進む荒川区ですが、今回の調査では、1,173
しゅるい どうしよくぶつ はっけん
種類もの動植物が発見されました。特に、街角を彩る
「種子植物」や、チョウやトンボなどの「昆虫・クモ」
が 多く報告されています。いつもの公園や道ばたに
ちい いろ いき
小さな命が息づいています。

※上記の数値は調査期間中に荒川区全域からアプリ「Biome (バイオーム)」に寄せられた全投稿を集計したものです。
※種類の登録はアプリユーザー自身によるもののため一部不確かなものが含まれている可能性があります。
※質問投稿(種類が分からなかった投稿)は種類の集計に含まれておりません。

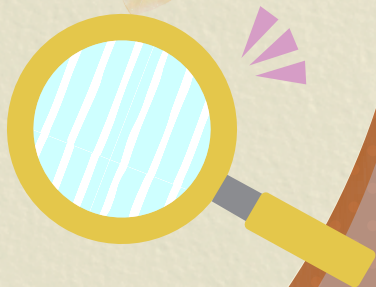
とうこうけんすう いちばんおお い もの 投稿件数が一番多かった生き物は？

こんかい ちょうさ どうこうけんすう いちばんおお
今回の調査で投稿件数が一番多かったのは、アキアカネでした。
あき ふうぶつし あか だいにようかく なつ あいだ ちやうさ
秋の風物詩「赤とんぼ」の代表格で、夏の間は高地など涼しい場所
で過ごし、秋には平地に戻って産卵します。ときには100キロを
こえて移動することもある、まさに「旅するトンボ」です。



▲アキアカネ

みんなで見つけた / 生き物たち

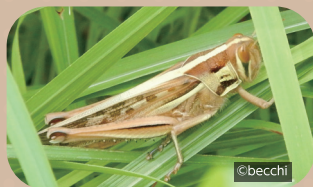


荒川区は、隅田川の水辺、公園の樹林・草地、街の中の花壇など、多様な自然環境が点在しています。今回の調査でも、変化に富んだ自然環境や季節を特徴づける生き物が数多く発見されました。一見生き物が少なそうな街なかでも、その環境に適応し人間とともに暮らす生き物たちが見つかりました。



あらかわ生き物大図鑑に載っている写真は、全て今回の調査でみんなが撮影してくれた写真だよ！

樹林・草地の生き物



ツチイナゴ

目の下の涙模様が特徴で、成虫のまま冬を越すバッタです



チョウセンカマキリ

オオカマキリより細身で、前脚の間のオレンジ色が特徴です



ルリタテハ

樹液や果実を好み、晴れた日には地面で縄張りを張るオスが見つかります



ショウリョウバッタ

オスはメスよりも極端に小さく、キチキチと音を立てて飛びます



ウラナミシジミ

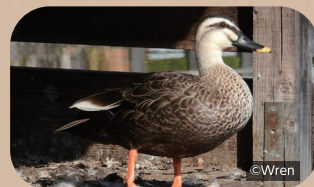
翅の裏の波模様から名づけられ、秋に片道切符の旅をするシジミチョウです



ツルボ

日当たりの良い土手や河川敷などで、フワフワした花穂をつけます

水辺の生き物



カルガモ

他の多くのカモと異なり、1年中見られ、日本で繁殖するカモです



ニホンアカガエル

赤褐色の体の特徴で、春先に日当たりの良い小さな水辺に卵を産みます



ヨシ

川や池の水際に育ち、水質を良好に保つたり生き物の棲み処を作り出します



コガモ

日本最小級のカモで、水面で逆立ちして水草等を食べる姿が見られます



コノシメトンボ

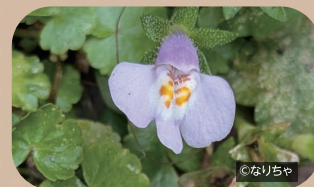
翅先の黒斑が特徴で、池沼やプールのような開けた水辺で見られます



アオサギ

日本で繁殖する最大級のスギで、獲物を待つ水辺に佇む姿をよく見かけます

街なかの生き物



トキワハゼ

1年中花が見られ、熟した果実が「はぜ」ることから名づけられました



ナミアゲハ

春と夏にそれぞれ成虫になる2つの型があり、大きさや模様が異なります



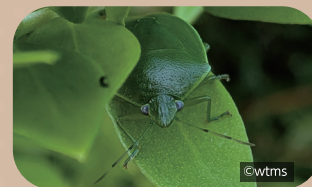
カキノキ

古くから栽培され、中国原産か日本在来のものなのか謎に包まれています



イヌタデ

ピンク色の花や果実を「赤飯」に見立ててアカマンマとも呼ばれます



ツヤアオカメムシ

光沢のある鮮やかな緑色で、捕まえると強烈なおいを放ちます

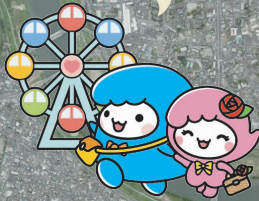


オニタビラコ

道ばたや公園で、長く伸びた茎の上に、タンポポに似た小さい花を咲かせます

あらかわの自然スポットに出かけよう!

ここでは、多様な自然環境と生き物が息づく5つのスポットを紹介するよ! 様々な生物を探しにお出かけしよう!



③ 荒川自然公園

発見した数 **538** 件
発見した種類 **274** 種類

三河島水再生センターの上につくられた公園です。水辺を好むトンボ類、ナミアゲハやキムネクマバチなど花と関わりの深い昆虫が多く発見されました。秋を彩るヒガンバナなどの植物も見つかりました。



オミナエシ

©おたんこなすび

① 西日暮里公園

発見した数 **65** 件
発見した種類 **51** 種類



ヒヨドリ

©しばいぬはともだち

ヒヨドリ、シジュウカラ、アオマツムシなど、生活史や餌資源が「樹木」「樹林」と関わりの深い生き物が多く発見されました。また、近年国内への定着が心配されつつあるシンジュキノカワガも確認されました。

②

③

④

⑤

④ 荒川公園

発見した数 **110** 件
発見した種類 **83** 種類



アカタテハ

©しばいぬはともだち

区役所の正面に広がる公園です。都市部でよく見られるドバトやキジバト、この季節を代表するアカアカネや樹上を生息場所とするハラビロカマキリなどが見つかりました。

② 都立尾久の原公園

発見した数 **474** 件
発見した種類 **246** 種類



ゴバネイナゴ

©Wren

池と湿地、その周りに広がる草原が特徴です。ウスバキトンボやアジイトンボなどのトンボ類、クビキリギスやエンマコオロギなどのバッタ類といった、水辺や草地に暮らす昆虫が多く発見されました。

⑤ 隅田川汐入周辺

発見した数 **396** 件
発見した種類 **210** 種類



クロベンケイガニ

©イザリウオ

「汐入」という名前の通り、スズキやベンケイガニなどの汽水域の生き物、サギやカモ等の水鳥が多く見つかりました。川と海との繋がりが、集まった結果にも色濃く出ました。

調査で発見！ 注目の生き物



あらかわく 荒川区で初記録！

アレチヌスビトハギ

表面の「トゲトゲ」「かぎ爪」「ネバナネバ」で動物や衣服等にくっつく種子や果実は、その様子から「ひっつき虫」と呼ばれています。この性質は、哺乳類や鳥類等にくっついて運ばれることで遠くに子孫を拡げようとする戦略の現れと考えられます。在来種の中にもこうした仲間はいくつか知られていますが、繁殖力が強い外来種はあつという間に増えて問題になっています。

アレチヌスビトハギもそんな「ひっつき虫」の1種。マメの仲間、三角形に連なった「さや」が特徴です。表面に「かぎ爪」のようになった細かい毛がびっしり生えていて、マジックテープのようにくっつきます。乾燥した場所でも育ち、他の植物の成長を抑えるような物質を出すことで、様々な在来の植物への影響が心配されています。



©becchi



©Norman Clator

あらかわく 荒川区の過去の調査結果には記載がなく、今回が初めての正式な発見記録になりました。



服に付いた果実はウェットティッシュでふき取ると簡単にとれるわよ！

ミシシippアカミミガメ

以前は幼体が「ミドリガメ」の名前で販売されていました。成長すると30cmほどにもなります。他のカメの生息場所を奪ったり、水辺の動植物をどんどん食べてしまうことが心配されています。飼育できますが、放流や販売は法律で原則禁止されています。



寿命は30年以上にもなるわ！飼う時はずっと一緒にいられるかきちゃんと考えましょう！！

2023年から
放流が法律で禁止に！



©becchi

アオイトトンボ

抽水植物の豊富な池沼や湿地で繁殖しますが、こうした環境の減少で東京都内では数を減らしています。他のイトトンボと異なり翅を半開きで止まるのが特徴で、成熟したオスは粉を吹いたように青白くなります。



みずべ 水辺の植物に卵を産み付けるトンボだよ！



ゆた 豊かな水辺を求めて飛ぶ

©しばいぬはともだち

コサメビタキ

枝からヒラリと飛び立って、空中で虫を捕まえるフライングキャッチの名人です。東京都内では多摩部での繁殖が知られ、荒川区などにある都市緑地は「渡り」途中の重要な採餌・休息の場になっています。



と しん 都心のみどりを渡る鳥

©しばいぬはともだち

ススメよりも小さい体で、東南アジアから飛んでくるわよ！



アカボシゴマダラ

関東地方を中心に増えている外来のチョウです。自然に飛んできたのではなく、人の手で放されたと考えられています。在来チョウ類と争いになることが心配されています。



はるさき 春先に現れるものは、赤い斑点が消えて、まるで別の種類みたいに見えるんだ！



かんとう 関東地方で急増中！

©キンギョギョ

れいわ 令和8年3月発行
へんしゅう 編集：荒川区環境清掃部環境課
かんしゅう 監修：株式会社パイオーム

本調査で得られた結果は、荒川区の生物多様性保全のために活用させていただきます。